

6・10 国鉄集会へ!

全学連(斎藤郁真委員長)書記局通信

2012年5月24日
27

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

5月25日～6月8日

京大同学会選挙いよいよ始まる!

京大同学会執行部選挙がいよいよ5月25日～6月8日に始まります!

富山統一候補は「大学奪還」「原発再稼働阻止、藤洋作追放」「自治寮つぶし反対、学生の生活を守れ」「大学の私物化反対、国立大学法人化反対」をかかげて闘い、全学の信任をもって総長団交へと突き進もうとしています。京大同学会の再建をかちとって6・10に結集し、7・16に向かってさらにキャンパスの闘いを爆発させよう。

京大ではこの間、クラス討論で学生との議論がガンガンに巻き起こっています。「200人で吉田寮食堂取り壊しを阻止したのは凄い」「元凶は松本学長だ。藤洋作を追放しても松本が同じことをまたやるだろう。松本は学生を締め付け京都大学を第二の『東大』にする気だ。」「藤洋作は天下りっばいから説明させた方が良いが、原



発研究は良い面も有る。原発とめたらエネルギー問題が出てくる。」「引責辞任した人が経営協議会に入っているのは何故駄目なのか?」など活発な意見が学生から出され、キャンパスにおける議論のかつてない高揚・活性化を生み出しています。この中でついに全学に公開された同学会執行委員会が復権され、そこには新入生も含めて多くの学生が参加し、同学会再建の主体が続々と生み出されています。いよいよ闘いは京大生全員を対象にした選挙を実施し、全学の意思を体現する闘う執行部を登場させる段階にきています。

全国学生のみなさん! われわれ学生は団結すれば、この社会を変革することができる決定的な力をもっています。今こそ新自由主義を打ち破り、学生の手で大学・教育、社会を取り戻す団結体=自治会を建設しよう! 京大同学会再建をその決定的な突破口としてともに勝ち取っていきましょう!

そして、新自由主義を打ち破る力が労働者・学生の団結にあることを示しつつけてきた階級的労働運動潮流が、全国から一大結集する国鉄闘争全国運動6・10大集会に、新自由主義を打ち破る全学自治会再建の宣言をもって結集し、階級闘争の力関係を一変させよう!

全国学生は万難を排して京大選挙決戦に結集しよう!!



全国学生からの5・12～14沖縄闘争の感想

法大2年生

わたしが沖縄に行って3年目。だが、それでも初めて感じたことが3点ある。

ひとつ、「労働組合が中軸に座った時の強さと活気」をまざまざと実感できた。私は、南風原壕に行く途中で自治労の平和行進に遭遇した。そこに参加している人間の大半は青年労働者で、東京の集会で見かけるようなお焼香デモではなく、みんなが主体的に声を上げ、とても活発であったことに驚いた。辺野古でも、東交の青年部が来て「安保粉碎」を叫ぶところにも遭遇したが、やはり主催が労働組合だと戦闘性が違う。

二つ、「福島と沖縄の結合」である。原発=原爆の関係、「国策」でいったい誰が得をしているのか、という怒りは沖縄と福島でやはり一緒だった。敵は完全に一つである。

三つ、「沖縄地元民の参加」である。何よりも怒っているのはウチナンチュである。いくら本土で基地撤去を叫んでも、地元現場の戦いなくしてはすすまない。今回の沖縄はその第一歩になったと思う。

だが、もうひとつ学ばされるものがあった。沖縄でも福島でも、運動をするにも個人の生活がかかっている。それに潰け込んで分断しているのもやはり国である。こんな国の姿は醜悪そのものである。

原発も基地も法大も構図は同じであり、私たちが法大で行動していることで「つながる」ことができると実感した。法大闘争をもっともっと社会的に拡大していきたい。

富山大3年生

私は今回、5・15沖縄闘争に初めて参加しました。「復帰40年」とは沖縄県民にとって「復帰」とは名ばかりで、米軍基地が強制され、固定化されている許し難い日であり、おじいおばあ、若者にまで世代を問わず日常の怒りを爆発させていました。

危険な米軍基地の大半を沖縄に押しつけている構造は原

発と同じです。昨年の3・11で立ち上がった福島県民が多数、沖縄を訪れていました。そう、フクシマの怒りとオキナワの怒りが完全に結びついたことが今年の闘争の最大のポイントでした。今まで分断されてきた沖縄と本土。3・11を経て基地問題を全国共通の問題として捉えなければなりません。

沖縄では教職員が立ち上がり、沖教組として現在も国策と戦い続けています。また、基地の労組である全軍労牧港青年支部の闘いをはじめ、IBMビジネスサービス労働組合のように新たな労組を結成しているのが沖縄です。私たちの職場にも闘う労働組合を、大学キャンパスに闘う学生自治会を沖縄に続き甦らせていこう！

広島大1年生

今回の沖縄闘争は、自分にとって初めての経験ばかりでした。その中で、特に印象に残ったものをいくつか書きたいと思います。いままで写真や文章でしか見たことのなかった場所を自分の目で改めて見ることは、想像以上に違うものがあります。特に嘉手納基地がそうでした。いかに大きいかは聞いていましたが、あの空港並みかそれ以上の大きさには驚きました。そして、印象深かったのが、国際通りのデモです。デモに参加したのも今回が初めてで、記念すべき一回目が国際通りデモになりました。地元の人がとても好意的でしたが、聞いた話では前回まではそうではなかったそうです。最後に、戦跡めぐりについてです。ひめゆり資料館では、戦争を経験し、それを生き延びたおばあさんのお話を聞きました。肥田舜太郎さんのお話を聞いた時とも思いましたが、経験した人が話すことは説得力が違います。自分の経験したことを新しい世代にしっかりと伝え、もう二度と自分たちと同じ経験をさせたくない、心から思っているのが強く感じられました。今回の体験を通じて感じたことは多くありました。今後の自分に生かしていきたいと思います。

国鉄闘争全国運動 6・10全国集会

新自由主義と闘う労働組合をつくろう！ 国鉄分割・民営化反対、1047名解雇撤回

6月10日(日)13時～

東京・文京シビックホール(文京区春日1-16-21)

【主催】国鉄分割・民営化に反対し、1047名の解雇撤回闘争を
支援する全国運動(国鉄闘争全国運動)

<http://www.doro-chiba.org/z-undou/z-index.htm> nationwidemovement@yahoo.co.jp
右写真は、1780人が結集した昨年6月5日の国鉄大集会(日比谷公会堂)

